

理 事 長 式 辞

青森公立大学に入学されました学部生324名、研究科生3名の皆さん、まことにおめでとうございます。教職員一同皆さんを心から歓迎いたします。そして、これまで皆さんを、しっかりと支えてこられたご家族はじめ関係者の方々には、心からお祝いを申し上げます。

さて、高校を卒業し、本日、青森公立大学の門をくぐられた皆さんにお伝えしたいことがあります。これまで皆さんは「生徒」と呼ばれていたはずですが、今日からは「学生」と呼ばれることになります。では、「生徒」と「学生」の違いは何でしょう。それは学ぶ姿勢の違いだと思っています。「高校までのようにただ人から教えられることを学ぶのではなく、自ら学び考え、そして行動する」という姿勢をもってこれから始まる大学生活を送ってほしいのです。本学の教育の基本方針の一つに「常に『何故か』の問いを発し、自らの頭で考える知的訓練を課し、創造力を育てること」というものがあります。大学では、講義、演習、実習、ゼミなどが用意されていますが、これらはすべて皆さん一人ひとりが自ら進んで学び考え、そして行動する、いわゆる「能動的な学び」をしっかりとサポートするためのものなのです。

また、サークル活動やボランティア活動、地域との交流活動にも積極的に参加していただきたいと思います。学業以外でも新しいことに貪欲にチャレンジする過程で、より実践的な企画力やコミュニケーション力を身につけることができるはずです。このように、皆さん一人ひとりの好奇心と行動力によって自由に自分を磨くことができるのが大学です。

よく、現代は、VUCA の時代であると言われます。VUCA とは、「変動性」「不確実性」「複雑性」「曖昧性」の4つの英単語の頭文字をとった造語ですが、社会は、まさに、不確実で複雑、不透明で曖昧な情勢にあり、この状況は今後さらに加速していくはずです。皆さんが自由を謳歌できるこの貴重な時間に、能動的な学びの中でしっかりと身につける学識と人間力こそが、VUCA の時代を乗り越える羅針盤となり、また、持続可能な産業や地域づくりにまい進する原動力となると確信しています。

結びに、皆さんにとって、本日が、未来を拓く第一歩を踏み出す記念すべき日となりますことを心から祈念申し上げ式辞といたします。皆さんご入学おめでとうございます。

2025年4月3日

公立大学法人 青森公立大学 理事長 高坂 幹